



# 学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成30年10月29日発行 No.27

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



## 「たいへんなことは大きく変われること」 ～「あ・は・も」の目標～

タイトルの言葉は、北京オリンピックマラソン代表の佐藤敦之さん（会津坂下町生まれ）の言葉です。この言葉は、「たいへんなこと、辛いこと、困難なことを乗り越えたときに、人は大きく成長できる。」という意味を持っています。

困難は、目標を設定し、それを達成していく過程に必ず生まれます。マラソン記録会でも、子ども達は、自分の目標を達成しようと、辛さ苦しさに向き合いました。どの子も「歩きたい」とか「力を緩めよう」とかの弱い心に負けず、目標を達成しようと自分の全力を出し切ってゴールする姿がとても印象的でした。

困難を乗り越える経験、目標を達成できなくても、全力を出し切る経験は、自分を変えたり高めたりする態度（自己啓発の力）を育んだことと思います。



力を出し切ってゴールする子ども達



全力を出し切れたのは、「応援」の力があったからです。保護者、地域の皆さまの応援、ありがとうございました。

## 大豊作！！～農業科～



5年生は、農業支援員の佐藤様のご好意で、脱穀の体験をさせていただきました。

3年生以上は、市教育の目玉である農業科に取り組み、子ども達の主体性、社会性、豊かな心を育てています。

5年生は、3日に稲刈りと脱穀を行いました。子ども達とできた粃の数を計算すると、1200万粒のお米ができたことがわかりました。ご飯茶碗にすると、6千杯分です。

4年生は、26日にサツマイモを掘り出しました。収穫したサツマイモを並べると、大小310本のサツマイモが並びました。

このあと6年生は、4年生は、教えていただいた菅谷農業支援員さんをお呼びして、スイートポテト作りを行い、収穫の喜びを味わうと共に、感謝の気持ちを伝えるそうです。



4年生は、土で真っ黒に汚れながら、地中深くまで掘ってサツマイモ収穫をしていました。

## 31年度入学予定児童、65名がやってきました(^\_^)

10日(水)に、31年度入学予定児童を対象とした就学時健康診断が行われ、65名の子ども達がやってきました。

6年生のお話をよく聞いて、指示通りの行動ができていました。とても素敵な子ども達でした。

6年生は、お世話をしながら、入学の日が待ち遠しそうな表情を見せていました。



6年生は、読み聞かせをしてあげたりしながら、園児の面倒をしっかりと見ていました。